

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	8	課題区分	C	令和6年5月13日	
横断的な課題	地域の特色を活かした山岳観光地域づくりの推進						
地域重点政策	1 農業、林業、製造業などの稼ぐ力を高める					北アルプス地域振興局	
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	北アルプス地域ワイン振興事業				電話	0261-23-6523(直通)	
					E-mail	kitachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	観光関係事業者には北アルプス地域のワインの特色や魅力を体験してもらうことで、観光商品と北アルプス地域ワインのマッチングを促進し、観光におけるワイン消費拡大につなげる。 また、当地域の食材を活かしたスイーツとのコラボレーション(「ワイン×スイーツ」)に焦点を当て、地元産ワインのより一層の普及・振興を図る。					
	現状と課題	コロナ禍の影響等により全国的に酒類の消費量減少が続く中、北アルプス地域においてもワインの出荷量減少に悩まされている。 観光との組み合わせにより消費の機会を増やしたいが、観光関係事業者における認知度が低く、観光でのワイン利用機会が少ないため、観光関係事業者への認知度向上が課題である。 また、ワインの新たな楽しみ方の提案等によるワインの消費者層の拡大が求められている。					
	内容 (変更後の内容)	<p>1 観光関係事業者向けに、北アルプス地域のワイナリーやワインぶどう畑等巡りの提供</p> <p>(1) 想定事業者 旅行エージェント、地元観光関係事業者等</p> <p>(2) 開催時期 令和5年11月4日</p> <p>(3) 巡る場所</p> <p>ア 北アルプス地域のワイナリー、ワインブドウ畑 ドメーヌ・ヒロキ(池田町)</p> <p>イ ワイン講座(講師)日本ソムリエ協会認定ソムリエ 花岡 純也 氏 (会場) ANAホリデー・インリゾート信濃大町くろよん</p> <p>ウ 信州安曇野ワインマルシェイベント(北アルプスのワイナリーが集結)</p> <p>エ 安曇野スイス村 ハイジの里</p> <p>2 地域食材を活かしたワインの新たな楽しみ方の検討</p> <p>ワインとともに味わう当地域の食材を使ったスイーツについて専門家を交えて検討、助言をいただく。 (相談者) 長野県「おいしい信州ふーど」大使 鎧塚 俊彦 氏</p>					
	事業期間	令和5年8月 ~ 令和5年11月					(単位:円)
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	観光関係事業者向けワイナリー巡り	北アルプス地域のワイナリー・ワインぶどう畑・ワインイベントの見学、ワイン講座の開催	775,110				
	ワインの新たな楽しみ方の検討	専門家への相談	51,200				
	合計		826,310				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	観光関係事業者の参加者数		20名	19名	○ 達成		
	観光関係事業者の満足度(5段階中4以上)		70%	94.70%	● 一部達成		
	受入れワイナリーの満足度(5段階中4以上)		70%	100%	○ 未達成		

<p>事業実績・成果</p>	<p>○観光関係事業者向けワイナリー巡り  令和5年11月4日に開催したワイナリー巡りでは、都内観光エージェント19名(前日に欠席連絡があった1名除く)に参加いただき北アルプス地域のワインを体験していただいた。ワイン講座では管内の5ワイナリーのワインととハードサイダーの試飲をし、長野県のワイン振興について学習することができた。  本事業に関するアンケートを取ったところ、参加者の満足度は94.7%、北アルプス地域産のワインを活用した旅行商品造成の可能性について「大いに可能性を感じる」と回答した参加者は73.7%だった。</p> <p>○ワインの新たな楽しみ方の検討  長野県「おいしい信州ふーど大使」の鎧塚氏から、北アルプス地域の食材を使ったスイーツとワインの組み合わせについて助言をいただくことができた。助言内容を観光関係事業者に情報提供したことにより、新たな旅行商品造成の一助になったと考える。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>都内観光関係事業者から管内のワインを使った旅行商品造成について可能性があるという声を多くいただいたので、今後もワインの魅力を発信しより一層の普及と旅行商品化の実現を目指していく。</p>